

横河ブリッジ工場など見学

「信頼される製品の提供を」 TNBが大阪で定例会開く

鉄骨二次部材加工グループ(通称・TNB、会長＝福岡賢・福岡社長)は11日、大阪府堺市のダイワロイネットホテル堺東で第15回定例会を開催し、出席会員から近況を聴



第15回定例会のもよう

取。足元は忙しいながらも全体的に一服感があるとの報告が大半を占めたことを受け、信頼される製品を社会へ提供するとともに、情報

交換を密にすることで、経営安定につなげていくことを決めた。また、会の社会的認知度を一層高めるため作成していたホームページの進捗状況についても説明、順調に作成が進んでいることを報告した。

山積み状況など近況報告では、各社ともフル稼働状態にあるとしたが、以前に比べ需要量が一服状態にあるとの報告が大半を占めた。先行きに関しても、鉄骨需要は今夏以降に盛り上がる



横河ブリッジ(上)と中山三星建材(左)を見学

これを受け、社会全般の建築業界に対する不信感があるなかで、会員は同縁をはじめとした信頼される鉄骨二次部材を提供していく

メタルプロダクツ(山形県最上郡真室川町、渡邊進社長)は11日に開催された鉄骨二次部材加工グループ(通称・TNB)の定例会に、モルドバ共和国から来日してい

る同社の研修員2人を同行した。写真(中央は渡邊社長。左がコンスタン・ビクター氏、右がミロン・アンドレイ氏)。

2人は現地の建設会社社員で、ビクター氏が29歳、アンドレイ氏が28歳。ともに将来を嘱望された人材で、母国語以外に2カ国語以上を使いこなす。

定例会に同行し勉強

モルドバの研修員2人

メタルプロダクツ(山形)

加は初めて。

渡邊社長が日本の無償

援助によるボイラー設置

事業の一員として現地へ

赴いた折、現地スタッフ

の責任者として採用され

たのがこの2人だった。

こうした縁で、メタル

プロダクツへ1年(20

15年12月20日から)の

研修に来ることになった。

ともに現寸課で同縁に特

化した現寸の勉強や図面

関係の技術の習得に励ん

て同行した」とする。

2人も「まだ来日して

3カ月ほどだが、日本は

全てがハイレベルだとい

うのが実感。最後まで一

生懸命に勉強し、多くの

ものを得て、持ち帰って

国の役に立ちたい」と強

い意思をのぞかせていた。

ている。

今回の同行について渡

邊社長は「短期間で技術、

文化、環境を習得しなけ

ればならないが、定例会

に参加することで会議の

仕方や仕事の流れを覚え

ることができると判断し

て同行した」とする。

そのほか、例会に先立ち、

横河ブリッジ(堺市西区)

と中山三星建材(堺市堺

区)を見学した。横河ブリ

ッジでは、橋梁生産本部大

阪工場の竹添修司・製作第

一課長、内海直己・工務課

長、横尾隆幸・工務課主査、

橋梁工事本部調達工務部の

善本隆之・第二課長の案

8社。

・エフ・シー、太田工業、

小田鉄工、浜田製作所、フ

ァブコン九州、福岡、メタ

ルプロダクツ、ヤマイチの

説明を受けた。中山三星建

材では、工藤孝幸・執行役

員西ブロック営業統括兼近

畿ブロック営業部長、畑田

佳則・プロジェクト営業部

長、橋本泰輝・近畿プロッ

ク堺営業課長、鈴木政徳・

近畿ブロック堺営業課らの

案内で、角パイプやC形鋼

の生産ラインを見学した。

当日の参加企業は、エヌ

・エフ・シー、太田工業、

小田鉄工、浜田製作所、フ

ァブコン九州、福岡、メタ

ルプロダクツ、ヤマイチの

説明を受けた。中山三星建

材では、工藤孝幸・執行役

員西ブロック営業統括兼近

畿ブロック営業部長、畑田

佳則・プロジェクト営業部

長、橋本泰輝・近畿プロッ

ク堺営業課長、鈴木政徳・

近畿ブロック堺営業課らの

案内で、角パイプやC形鋼

の生産ラインを見学した。

当日の参加企業は、エヌ

・エフ・シー、太田工業、